

富加小2年生が議場を見学

町探検の一環として、富加小の2年生69名が議場を見学しました。
見学した児童は、議場の緊張感を感じつつ渡邊議長の話に耳を傾け、タブレットを活用して写真を撮ったり町の情報を検索したりしました。

主 な 内 容

議長新年のごあいさつ	2	町政Q & A 一般質問	8
委員会報告	3	議会活動	15
第7回 定例会	4	これが知りたい!!	16

新年のごあいさつ

富加町議会議長 渡邊圭太



新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、穏やかに初春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

令和4年の年頭にあたり、町議会を代表いたしまして、新年のご挨拶を申し上げます。令和3年も前年度からの新型コロナウイルス感染症の予防と対策にひたすらかかわりあう日々となってしまう、既存の生活がいかにもろい基盤に支えられているか痛感させられた年でありました。日々の中で改めて人を思いやる心の大切さを知り、思いやりの絆の深さ、大切さを今度は私たちが地域の活動の中で実らせ展開してゆかねばならないと感じます。この社会的影響でほとんどのイベントが自粛を余儀なくされましたが、昨年末から徐々に規制が緩和され、これまでの日常に戻る兆しが見えてきました。今年こそは新しい生活様式とともに、着実に地域の豊かな暮らしを再開していく年にしたいものです。

ワクチン接種も進み町民の80%以上が2回の接種を完了しました。町民の皆

様には、積極的な接種に感謝いたします。それと同時に接種されない方への差別等を防ぎ、副反応についての十分な情報の公表や周知徹底など、必要な対応を求めています。年末にかけ日本国内におきましては、感染者減となり経済活動に舵を取れると思われた矢先に新たな変異株「オミクロン株」が出現しました。その驚異的な感染拡大力を警戒しなければいけない一方で、ただ恐れるだけではなく危機意識を持って変異株に注視し、いつ何をすべきかを問い続け行動していかなければなりません。

町議会としましては、予算や条例などの町執行部からの議案に対して、今後さらに議会における議論に町民の皆様の意見を反映させることが最も重要だと考えています。限られた予算で最大の効果が得られるよう、そして町民の皆様が安心して暮らせるように取り組んでまいります。

今年こそ治療薬の開発で一日でも早くこの新型コロナ感染症が終息することを心から願い、年頭のごあいさつとさせていただきます。

委員会報告

総務産業建設常任委員会

**「特定ごみ」の処理区分を定めた富加町
廃棄物の処理及び清掃に関する条例の
一部改正を可決すべきものと決定**

委員長/佐曾利議員 委員/木村議員、渡邊議員、福田議員

総務産業建設委員会は12月9日に会議を開き、所管する条例案件、予算案件等について審議を行いました。

産業環境課関係では、家庭ごみのうち、これまで処理困難物であった耐火性金庫などを令和4年4月から、「特定ごみ」として取り扱うことの説明がありました。委員からは、特定ごみの出し方の周知方法について質疑や意見がありました。

総務課関係では、デジタル化による行政手続きの押印見直しについて、関連する4条例を一括して改正することの説明がありました。委員からは、申請者の負担軽減や事務の効率化を図ることは必要と認めつつも、押印を廃止することの是非について質疑や意見がありました。

建設課関係では、半布ヶ丘公園内の既存の町道を一旦廃止し、新たに公園管理道路を含めて認定することの説明がありました。また、水道事業では、直近11月末の有収率が95.76%となり、漏水調査や修繕工事による改善の成果が上がっていることの報告がありました。

その他、予算案件では、町民まつりなどの行事の中止に伴う事業予算の減額等について質疑がありました。

慎重な審議の結果、所管する案件は原案のとおり可決すべきものと決定しました。



総務産業建設常任委員会のような

文教厚生常任委員会

**新型コロナウイルスワクチン接種事業に
かかる専決補正した一般会計補正予算を
承認すべきものと決定**

委員長/山田議員 委員/梅村議員、川崎議員、井戸議員

文教厚生委員会は、12月10日に会議を開き、所管する条例案件、予算案件等について審議を行いました。

福祉保健課関係では、新型コロナウイルスワクチン接種事業について、町内の接種対象者の約9割が2回目まで接種済みであることの報告があり、令和3年度一般会計補正予算（第7号）では、3回目接種にかかる追加の業務委託費等1,564万円の専決処分の説明がありました。また、国が対応を協議中であった子育て世帯への臨時特別支援給付金については、委員から10万円相当の給付への質疑や意見がありました。



文教厚生常任委員会のような

また、住民課関係では、国民健康保険税条例の一部改正について、令和4年度の保険税から仮算定を廃止し本算定のみとすることで、納付回数を9回にすることなどの説明がありました。教育課関係では、南公民館ゆうあい公園の修繕料79万円の増額補正などについて質疑がありました。

慎重な審議の結果、所管する案件は原案のとおり可決すべきものと決定しました。



第7回

定例会

コロナ克服・新時代開拓のための経済対策

子育て世帯への臨時特別支援 給付金などの補正を可決

令和3年12月7日から12月定例会が開催され、令和3年度富加町一般会計補正予算(第9号)などの議案を議決しました。

議会の動き

12月定例会では、「令和3年度富加町一般会計補正予算(第7号)」の専決処分の承認や、「押印等の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例制定」など条例案件4件、「町道路線の廃止」及び「町道路線の認定」が各1件、予算案件2件が町長から提案され、これらの議案について原案のとおり可決しました。また、議員発議による「委員会条例」及び「会議規則」各1件についても原案のとおり可決しました。

その他、富加町水道、下水道の各会計から令和3年度上半期の事業内容について報告がありました。

さらに、最終日には「令和3年度富加町一般会計補正予算(第9号)」が追加上程され、審議後、可決しました。

会期は9日間 開会12月7日 閉会12月15日

12月7日(火)	本会議 開会、議案上程・説明
	全員協議会 議案の詳細説明、質疑等
12月9日(木)	総務産業建設常任委員会
12月10日(金)	文教厚生常任委員会
12月14日(火)	全員協議会 議案の詳細説明、質疑等
12月15日(水)	本会議 一般質問、議案上程(追加)、 質疑、討論、採決、閉会

専決処分

令和3年度 一般会計補正予算(第7号)

補正額 1,564万1千円 総額 32億2,582万1千円

ポイント 新型コロナウイルスワクチンの3回目の接種事業に伴う業務委託費等を追加。財源は国の交付金が充てられました。

(令和3年10月25日専決)

「専決処分」とは？

町長が予算や条例などを議会の議決を経ずに、自ら決めることです。緊急を要するなどやむを得ない場合に決定できることが、地方自治法で定められています。

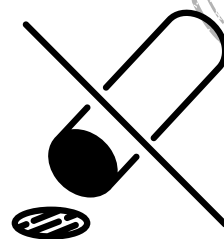


条例の制定

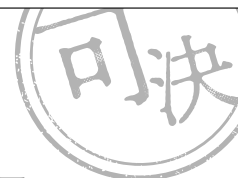
押印等の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定



デジタル社会形成基本法に基づき、行政手続き等の押印義務を不要(廃止)とすることにより、申請者の負担軽減や事務の効率化を図ることを目的に関係4条例を一括して改正。



ハンコレス



条例の一部改正

富加町国民健康保険税条例の一部改正



全世代型社会保障改革に伴い、令和4年度から未就学児に係る保険税の均等割額を5割軽減することや、普通徴収における仮算定を廃止し納期を変更するための改正。

富加町国民健康保険条例の一部改正

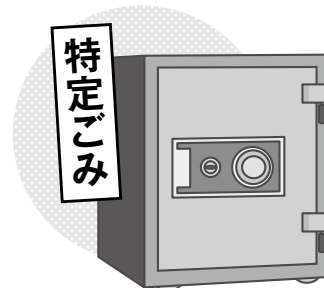


健康保険法施行令の改正に伴い、出産育児一時金の支給額について、産科医療補償制度の掛金の見直しにより引き上げる(*)ための改正。
(※産科医療補償制度対象の出産育児一時金の支給総額42万円を維持するもの)

富加町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正



家庭ごみのうち、耐火性金庫などの処理困難物を新たに「特定ごみ」として、令和4年4月から取り扱うことに伴う所要の改正。



その他

町道路線の廃止



半布ヶ丘公園内の公園管理道路につながる町道夕田30号線及び町道夕田31号線の2路線について一旦廃止。



町道路線の認定



半布ヶ丘公園内の公園管理道路を含む新たな町道夕田32号線及び町道夕田33号線の2路線を認定。



補正予算



令和3年度 一般会計補正予算(第8号)

補正額 1,640万8千円 総額 32億4,222万9千円

ポイント 新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、町民まつりや各種スポーツ大会、消防操法大会等を中止としたことに伴う事業費等を減額。財源は財政調整基金繰入金、ふるさと納税基金繰入金等が減額されました。

また、経費分が増大した介護給付費等の扶助費1,336万4千円や保健センター維持修繕工事92万6千円、道の駅休業等協力補助金140万円等が追加されました。財源は国や県からの交付金等が充てられました。

令和3年度 介護保険特別会計補正予算(第2号)

補正額 720万円 総額 5億8,192万1千円

ポイント 介護サービスの利用増に伴い、保険給付費を追加。財源は国の交付金や県の負担金、介護給付費繰入金等が充てられました。

令和3年度 一般会計補正予算(第9号)

補正額 5,077万7千円 総額 32億9,300万6千円

ポイント 18歳以下の子ども1人につき10万円相当の給付を行う子育て世帯臨時特別給付金のうち、迅速に給付すべきとされた5万円分の追加補正5,000万円や関連する事務費等を追加。財源は国の交付金が充てられました。



報告

令和3年度 富加町水道事業会計上半期事業報告、令和3年度 富加町下水道事業会計上半期事業報告

ポイント 令和3年4月1日から9月30日までの町水道事業会計及び町下水道事業会計における事業概要、経理状況、業務量が報告されました。

議員発議



富加町議会委員会条例の一部改正、富加町議会会議規則の一部改正

ポイント 災害等の発生、感染症のまん延防止等の観点、育児や介護等のやむを得ない事由により、委員会の開催場所への参集が困難と判断される場合に、情報通信端末機器(タブレット)を活用したオンラインでの開会方法の特例を定めるための所要の改正。

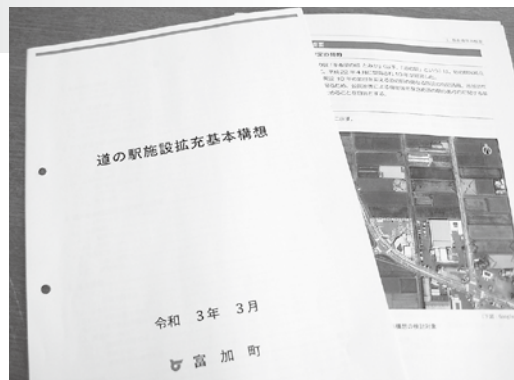
「議員発議」とは?

議案は、通常町長から提案されますが、議員もしくは委員会から提案することを発議といいます。

議員全員協議会報告

「道の駅拡充整備に伴う官民連携手法の実現性調査」に特化した議員全員協議会を開催しました。

今年度の調査業務について、請負業者からこれまでに開催した勉強会やワークショップの内容の説明がありました。議員からは、道の駅などの既存施設の拡充方法やエリアマネジメントの可能性、官民連携事業の公益性と収益性などについての質疑や、今後の調査業務や意見集約の進め方への要望がありました。



調査は、昨年度策定された「道の駅施設拡充基本構想」を基に進められている

審議の結果

令和3年第7回富加町議会定例会

件名	結果	賛成	反対	山田直行	渡邊圭太	木村康夫	福田定道	川崎伸泰	梅村登次	井戸亨	佐曾利敏
承認第11号 専決処分の承認を求めることについて 令和3年度富加町一般会計補正予算(第7号)	承認	7	0	○		○	○	○	○	○	○
議案第34号 押印等の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決	7	0	○		○	○	○	○	○	○
議案第35号 富加町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決	7	0	○		○	○	○	○	○	○
議案第36号 富加町国民健康保険条例の一部を改正する条例について	原案可決	7	0	○		○	○	○	○	○	○
議案第37号 富加町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	7	0	○		○	○	○	○	○	○
議案第38号 町道路線の廃止について	原案可決	7	0	○	議長	○	○	○	○	○	○
議案第39号 町道路線の認定について	原案可決	7	0	○		○	○	○	○	○	○
議案第40号 令和3年度加茂郡富加町一般会計補正予算(第8号)	原案可決	7	0	○		○	○	○	○	○	○
議案第41号 令和3年度加茂郡富加町介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決	7	0	○		○	○	○	○	○	○
発議第4号 富加町議会委員会条例の一部を改正する条例について	原案可決	7	0	○		○	○	○	○	○	○
発議第5号 富加町議会会議規則の一部を改正する規則について	原案可決	7	0	○		○	○	○	○	○	○
議案第42号 令和3年度加茂郡富加町一般会計補正予算(第9号)	原案可決	7	0	○		○	○	○	○	○	○

○賛成 ×反対 ※議長は採決に加わりません。

一般質問

町政

Q & A

一般質問は、議員が町政全般について現状や方針を問うものです。12月定例会では、5人の議員が10件の質問を行いました。掲載の内容は、質問及び答弁を要約したものです。

※紙面の都合上、実際の質問の順序を変えて掲載しています。

富加町議会では、議員1人あたりの持ち時間は60分です。「一括」または「一問一答」から質問方式を選択し、議長の許可を得て質問します。



QRコードからは
議会録画映像を
ご覧いただけます。

*映像の公開には、一定の期間を要することがあります。

一問一答 町単工事の申請受付について

佐曾利 敏 議員



Q 町単工事の申請の規定は、特に概算工事費についてどうなっていますか。小規模から大規模な案件まで全て受付可能ですか。

A 【澤野 建設課長】
申請可能件数は、今年度より1自治会1件とし、事業規模は400万円程度までとしています。ただし、400万円を超える場合は、特例として複数年にわたり実施する場合があります。また、案件の規模にかかわらず原則、受付可能です。なお、事業費が30万円以下の案件は、別途、「小規模修繕工事に関する補助金制度」がありますので、この制度の活用をお願いしたいと思います。

Q 各自治会への申請案内は、町内一律に行われていますか。また、以前のような自治会の規模による制限は撤廃しましたか。申請が却下された旨の連絡や一旦、取り下げた案件は、復活の可能性はありますか。

A 【澤野 建設課長】
申請案内は、自治会長会で改正事項などを含めて説明しています。申請は、数年前に地元負担金を撤廃して以降、件数が増大し受益戸数が非常に少ない案件や、

限度額を大きく上回る事業規模の案件があるなど、採択はしたものの事業化にあたっては、予算の確保が困難で事業の積み残しが増えるケースがあり、優先度の高い案件を1件に絞って申請いただくようにしたところです。

要望に対する回答については、自治会長宛に書面をもって通知しています。また、不採択となった案件は、その後の地域環境の変化等により、再申請をしていただくことは可能であると思います。

Q 概算規模の大きなものは、町単工事申請ではなく、町の総合計画やマスタープランの中に組み込むべきと思いますがどうですか。また、次年度より、申請を事業規模仕分けして案内してはどうですか。

A 【澤野 建設課長】
規模の大きな案件は、特に事業効果や実施期間、優先順位等を町の財政計画と合わせて十分検討を重ねたうえで、都市計画マスタープラン等に位置づけ、事業化するべきであると考えます。大規模な工事が予測される場合や、概算工事費の算定ができないなど、自治会で判断しかねる場合には、事前にご相談いただくことを再度徹底していきたいと考えています。



Q 富加駅の一日の平均乗客数は、何人ですか。また、長良川鉄道への町の負担金は、ここ5年間はどれほどですか。

A 【福田 総務課長】

平均乗客数は、平成29年度155人、平成30年度173人、令和元年度161人、令和2年度159人です。町の負担金は、平成28年度559万円、平成29年度600万円、平成30年度648万円、令和元年度647万円、令和2年度は909万円となっています。なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により赤字額が増加したため、別途交付した運行支援金148万円を含んでいます。

Q 沿線自治体の中では、この鉄道の在り方や将来をどの様に考え、議論がなされていますか。

A 【福田 総務課長】

長良川鉄道は、町にとって重要な公共交通であり、特に高校生には欠かせない移動手段ですが、施設の老朽化に伴う安全性の確保や維持管理に係る経費の増大と沿線5市町の負担が課題となっています。これまでも経営安定対策委員会で、鉄道事業の存続や経営再建が検討されてきました。今後は沿線市町にとっての存続意義を改めて見直す時期で

あると考えていますが、現段階で詳細について話すことはできません。



沿線市町が補助する長良川鉄道

Q 道の駅「半布里の郷とみか」の拡充構想の中で、富加駅は勉強会・ワークショップで一つの拠点と考えられていますが、町としての考えはどのようなものですか。

A 【足立 産業環境課長】

道の駅の拡充基本構想では、道の駅単体のマネジメントだけでなく周辺とのエリアマネジメントの必要性を掲げています。構想の基本方針の一つとして富加駅を含め、道の駅から1kmほどのエリアにある半布ヶ丘公園、河川公園とみぱーくの4つをエリアマネジメントの拠点施設として位置づけ、その活用方法を今後検討していくこととなります。

一括 町行政に対する提言、苦情の対応について

山田 直行 議員

Q 町職員は各課において質問、提言、苦情などが町民から寄せられると思いますが、どの様に対応しているのか個々の案件の違いはあるにせよ、ここ5年間の基本的な対応についてお聞きします。

A 【福田 総務課長】

町民の方からの提言や苦情は、基本的に各課において対応をしていますが、内容により参事・町長まで協議しています。

また、平成30年度には、町政に対する要望等の記録に関する取扱要綱を制定し、町政に対する要望等、情報を共有する必要がある案件は対応記録票を作成し、文書で町長へ報告する制度を開始しているところです。さらに今年度からは、より迅速に多くの職

員間で情報共有を行うため、職員が個々に使用しているパソコン画面上で、係長以上が情報共有できる仕組みを構築し、試行的に運用を行っています。

組織においては、報告・連絡・相談は非常に大切なことであり、重要な案件は情報共有することが必要と認識しており、その方法は今後も適宜改善していきます。





Q 各課の令和3年度の成果・評価と令和4年度の目標や、私からの提案などについて考えをお伺いします。
住民課は、滞納問題を重点目標としていたきたいと思いますが、いかがですか。

A 【亀山 住民課長】

今年度は、特にマイナンバーカードの普及について積極的な周知広報を進め、丁寧かつ適切な対応に取り組んでいると感じています。来年度は、マイナンバーカードの多目的利用や窓口手数料のキャッシュレス決済導入を視野に入れ、町民の方の利便性を図りたいと考えています。

町税等の滞納については、来年度も引き続き強制徴収などの対策を積極的に行い、大口で困難な事案は、1つずつ手段を講じて解決していくことを目標としたいと考えています。

Q 福祉保健課は、引き続きの目標となるワクチン接種についてお聞きします。

A 【川崎 福祉保健課長】

今年度は、「これからの超高齢化社会のニーズにいかに対応していくか」という着眼点で、業務内容の改善や助成制度の見直しの検討を行ってきました。成果としては、検討ができたものから新年度予算へ反映させていますので、来年度の事業として現れてくるものと考えています。

ワクチン接種については、令和4年2月からは町の集団接種も再開する予定ですが、複数社のワクチンを取り扱うことや小児のワクチン接種も国で検討されていることから、町民の方への丁寧な広報と円滑なワクチン接種に引き続き努力していきたいと考えています。

Q 建設課は、主要3路線の早急な進捗と官民連携手法による河川公園とみぱーくの計画、町営住宅の入居率を上げることが目標であると思いますがいかがですか。

A 【澤野 建設課長】

川浦川左岸線建設事業をはじめとする主要3路線の道路整備事業は、これまで順調に進捗している状況です。また、水道事業は、漏水に係る有収率の改善について、老朽配水管の更新工事や漏水調査などの対策をすることで成果が実績として上がっているところです。この他、空き家対策等にお

いても関係者のご協力を得て、一定の成果をあげることができました。

来年度は、道の駅の活用計画と連携した河川公園とみぱーくの官民連携の手法等を見出すことも重点目標に位置付け、計画の具現化に向けて一層の検討を続けていきたいと考えています。町営住宅については、引き続き住環境の整備を行い、空き状況などの情報を広く広報し、常に支援の窓口を整えることが大切であると考えています。



工事が進捗する町道西組木船線（大山地内）

Q 産業環境課は、官民連携手法によるエリア計画について、来年度はどこまで進捗する目標ですか。
また、町の農業維持のため、スマート農業に取り組みねばと考えますがいかがですか。

A 【足立 産業環境課長】

今年度の成果は、農業分野では町内全域の人農地プランの策定、いちご新規就農施設整備支援や農業委員会による農地保全・農地利用の最適化推進が図れたこと、林業分野では、県補助金等を活用した危険木伐採や間伐等継続した森林整備事業の実施、商工業分野では元気振興券を活用し地域消費の拡大・活性化が図れたことや道の駅を含むエリアマネジメントでまちの賑わいを創出するための官民連携手法の可能性調査に取り組んだことなどが挙げられます。

来年度は、新たな事業として農業振興地域整備計画の見直しや川小牧の山下池廃止に伴う下流排水路整備にかかる実施設計の実施、未整備人工林の現地調査などの森林整備事業の推進、道の駅の官民連携事業において地域プラットフォームの組成や設置要綱策定など、順調に進捗できることを積極的な目標として掲げます。

スマート農業については、まずは実証実験などを含め事業効果を検証し、町内で利活用可能なコンテンツの抽出整理や事業化のシナリオ策定から始めることが重要であると認識しています。

Q 総務課は、情報伝達を目標にしていくべきと考えます。情報手段の使い分けルールや公平な伝達、デジタル化によるタブレット端末の導入などについてお伺いします。

A 【福田 総務課長】

今年度は、町第5次総合計画後期基本計画及び第2次総合戦略の初年度でしたが、コロナ禍により計画した事業も十分推進できない部分もありました。来年度も町にとって貴重な財源となっているふるさと納税寄付金にかかる返礼品を充実し、より多くの寄附がいただけるよう努めていきたいと思っています。

町での情報手段は、防災無線放送やメール・ライン、町ホームページなどの使用や、広報紙やチラシ等を各戸に配布しています。高齢者などにも配慮し、情報伝達の偏りをできる限り無くす必要があるため、モバイル端末のみに頼らないことも必要であり、防災無線による放送や広報とみかななどによる情報提供も充実していきます。なお、今年度から町ホームページに翻訳機能を追加し、外国人住民の方にも情報共有していただけるようになりました。

タブレットを利用した情報伝達は一方法ではあると思われませんが、地方のデジタル化については、国や県の補助制度の新設が今後予想されるため、これらを見極めながら検討していきます。

Q 教育課は、今年度は行事がほとんど中止になり行事の再開が大きなことですが、再開するだけでなく見直しの検討についてお聞きします。

また、小中学校のGIGAスクールの事業では、タブレットを有効に活用する事だと思えます。

県外、国外の他校とのオンライン交流などを行うことは、来年度できませんか。

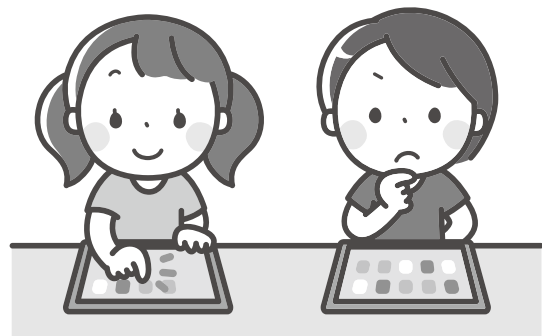
A 【川合 教育課長】

新型コロナウイルス感染症対策により、今年度に計画されていた事業はほとんどが中止、縮小となりました。

来年度については、コロナが収束に向かえば、行事を再開していく予定です。まずは、コロナ前と同様の事業を中心に実施していきたいと考えています。

行事の見直しについては、特に町民スポーツ大会の一部を軽スポーツを中心としたリクリエーション大会とし、自治会単位の参加ではなく、誰でも自由に参加できる形式に見直すことなどの検討を行っています。

GIGAスクールの事業では、タブレット端末を有効活用するために、先生方を対象にした研修を実施し、授業での動画視聴、授業参観などオンラインを活用した行事を積極的に行っています。他校とのオンラインによる交流活動も一つの活用方法として、学校へ提案しようと思います。また、合唱については、現在は県のガイドラインにより開催できていませんが来年度以降、再開できれば他校との合同開催についても学校と相談していきたいと考えています。



Q 来年度の各課の目標をお聞きした上で、町長として目標をお伺いします。

A 【板津 町長】

第5次総合計画による必要な財政支出は躊躇なく行い、万全を期していきたいと考えています。また、新型コロナウイルス対策には全力を挙げ、こども課の新設を契機として子育て支援の一層の充実を図り、町民が安心・安全に暮らしていける環境の整備にも継続して取り組んでいきたいと考えています。

令和4年度は、ウィズコロナとなることを踏まえ、積極性を持ちながら慎重に身の丈にあった町政運営を心がけていきたいと思っています。

一問一答 道の駅拡充計画について

井戸 亨 議員



Q 道の駅施設拡充基本構想資料に3月25日議会承認済みとありますが、3月定例会においてこの構想の議決がなされたかをお聞きします。

A **【足立 産業環境課長】**
道の駅施設拡充基本構想は、令和3年2月末に策定し3月議会定例会の全員協議会で概要説明を行い、ご理解いただけたものと認識しています。

また、令和3年6月の議会定例会では、拡充基本構想の補足説明と今年度の官民連携支援事業の調査費追加についての説明を行い、補正予算の承認議決をいただき現在調査業務を進めている状況ですが、その説明資料文中の「3月議会承認済」という表現が、議決事項であったかのような誤解を与えたことについては、深くお詫びいたします。

Q 事業スキームの概要は、「本事業では隣接する2,600㎡取得を前提条件に拡充」とあり、対象地は農地であるため耕作に不都合が生じ、隣地の承認が絶対必要条件と考えますが、どのような対応を考えていますか。

A **【足立 産業環境課長】**
事業を進めるにあたっては、特に隣接農地の営農上の支障や地域への影響の有無について検証・

評価のうえ、起こりうる影響に対して必要な対策を講じた計画により、利害関係者のご理解をいただいたうえで事業を進めることが重要と考えます。

Q 道の駅は町の施設ですが、地元の考え・要望を広く反映させるためにも早期の地元説明会が必要ではないかと考えますが、見解をお聞きします。

A **【足立 産業環境課長】**
現在、道の駅の拡充基本構想に沿って、官民連携手法の可能性調査を行っており、地域の方々を含むワークショップの協議の場で現状施設の課題やアイデアなどの意見を聴取しています。今後、それらの内容から地域プラットホームの構築につなげる検討や母体となる集合体の組成、そして自立に向けた組織体の検討をすることとなりますので、具体的な事業計画となった時点で地元説明会等を開催したいと考えています。



道の駅ワークショップの様子

一問一答 教育長の任命について

井戸 亨 議員

Q 今までの教育長は、全て役場の職員が退職して就任しておられると認識しています。可茂管内や県下の教育長の前職は、富加町と同じく行政職か、教育職など外部からの人材登用の方の割合をお聞きします。また、教育長は町内在住の方に限定して選んでみえるのかをお聞きします。

A **【板津 町長】**
可茂管内10市町村のうち前職が行政職である教育長は現在、本町の粥川教育長1名であり、県下では41市町村教育委員会のうち4名、約10%の方が行政職です。

また、教育長任命にあたっては、決して町内在住に限定している訳ではなく、本町の社会生活や学校の様子を身近に感じておられる方で、教育長として適任な方を選任しています。

Q 教育長の職務は学校教育と社会教育ですが、重きは学校教育にあると考えます。特に学校職員の人事が重要であると考えます。行政職出身か、教育職出身かどちらが富加の宝である子どもたちの将来を見据えた教育行政に適しているとお考えかをお聞きします。

A **【板津 町長】**
「行政職か教育職出身のどちらが」という考え方はしたことがなく、お答えをすることはありません。当然、学校人事に関わることも重要な職務の1つとは考えていますが、町の子どもの将来を見据え、社会教育、学校教育、そして、こども園等を含む子育て支援を考えていただける方であれば、行政職、教育職を問わずそれぞれの特性を生かし職務をしていただけたらと考えています。

Q 工事費用と空調本体価格はいくらかかりますか。

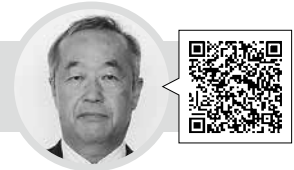
A 【板津 町長】
12台で工事費用は約8,000万円、機器本体価格は約4,000万円の費用がかかります。

Q 先例市町村の空調設備設置の財源は、「体育館が指定拠点避難所に指定されているため緊急防災・減災事業債を活用した」と聞いていますが、これが活用できるのでしょうか。

A 【板津 町長】
富加小学校の体育館も指定避難所に位置付けられているため、緊急防災・減災事業債の活用は可能であると考えます。

Q 「財政的な問題から導入できない」との前の回答でしたが、空調設備導入に向けた具体的な見通しをお聞きます。

A 【板津 町長】
学校では夏の暑さ対策として、年間指導計画による授業の入れ替えや授業内容の変更等の工夫を行い、体育の授業時間を確保しています。体育館に空調設備を導入すれば、そういった対策をすることなく授業が行えるため、児童や教員の方の負担が軽減されると思います。
また、災害発生時の避難場所として利用されることもあるため、空調設備の必要性は認識していますが、多額の予算を要することになります。現在のところは具体的な見通しはありませんが、空調設備の導入については、井戸議員と同様の認識を持っていることをご理解いただきたいと思います。



Q 令和4年度の予算編成の基本方針について、予算規模や財源確保の見通し、新型コロナウイルスが税収に与える影響についてお聞きます。

A 【板津 町長】
予算規模については、真に必要な事業を見極めることで、歳出を可能な限り削減し予算規模の肥大化を抑制します。コロナ禍の税収では、令和2年度で前年度比104.6%となり、その影響を感じにくいものとなりました。また、令和3年度当初予算は、コロナ禍の影響を見込み減収予算としていましたが、現状では予想ほど落ち込まないものと見ており、令和4年度は、前年度を上回る予算を見込めるのではと考えているところです。

Q 重点事業や主要3路線の道路事業は規模も大きく負担が大きいのと思われますがどうですか。また、新型コロナウイルス感染防止、カーボンニュートラルの取り組みについてはどうですか。

A 【板津 町長】
各課にヒアリングを実施したところ、主な継続事業として、主要3路線では、川浦川左岸線と稲

荷北野線の路線などの社会資本整備総合交付金事業で1億1,900万円、公共施設では、富加小学校渡り廊下トイレ改修2,500万円を含む学校施設等改修事業などにかかる予算要望がありました。主な新規事業では、デジタル防災無線導入、ジャストタウン加治田(仮称)宅地造成工事、住民票や印鑑証明などのコンビニ交付サービス事業などの予算要望がありました。

こうした主要事業については、大きな財政負担となるため、予算査定で十分精査したうえで予算化していきます。

感染防止対策は、ワクチン追加接種を優先的に推進し、今後、新たに交付が予定されている新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業について協議し予算化していきます。

カーボンニュートラルは、新規事業として特段予算化の予定はありませんが、従来から実施している住宅用新エネルギーシステム等設置事業補助金、生ごみ処理機補助金及び分別資源物収集業務等は来年度も計上予定です。

町は、脱炭素に向けて公共施設への太陽光発電や電気自動車の導入、道の駅への充電スタンド設置などの事業を手がけており、こうした政策を継続していくことが重要であると思っています。

Q 交通安全委員の自治会割当人数が、0.2名(10世帯当たり)から1.2名(同)と6倍の差があり不公平であると思いますが、見解をお聞きます。

A 【福田 総務課長】
委員の割当人数に開きができたことについては、公平とは言えない状況にあると思いますが、過去からの経緯もあり単純には判断しかねるところがあります。



交通安全人波作戦のようす

Q 交通安全協会規則には、委員の割当方法の規定がなく割当の透明性、妥当性があるとは思えませんが、見解をお聞きます。

A 【福田 総務課長】
加茂地区交通安全協会富加支部は、その趣旨に賛同する方々で構成されている任意団体です。現状の割当数がいつ頃決められたものか調査しましたが、はっきりとは分かりませんでした。推測ですが、これまで問題が表面化することがなかったため、定期的に世帯数に応じた見直しなどがされなかったものと思われます。定期的に割当人数の見直しを行うなどの規定はあった方が好ましいと思われます。

Q 交通安全委員の自治会割当人数は是正すべきと思いますが、行政指導や提言、事務局案で改善はできませんか。

A 【福田 総務課長】
富加支部役員会でも一度検討していただくよう提案したいと思います。

Q 漏水調査の改善状況、漏水の原因の傾向を統計的、定量的に教えてください。また、漏水調査での発見件数と住民通報での発見件数の実態はどうですか。

A 【澤野 建設課長】
過去5年間の漏水件数は計87件で、その原因の比率は、老朽化によるものが約86%、施工不良と思われるもの12%、事故によるものが2%です。この数値から老朽化に伴う管材等の劣化が、漏水の主な原因となっていると思われます。また、発見件数の内訳は、町民の方等からの通報件数が57件、漏水調査による件数が24件、職員の発見等によるものが6件です。

Q 有収率94%の達成は現実的ですか。実現に向けた対策をお聞きます。

A 【澤野 建設課長】
今年度11月までの8カ月間の有収率が、91.18%であり、今年度中の達成は、かなり厳しい状

況であると考えています。しかし、今後の目標としては、決して無理な目標値ではなく、むしろ目標とするべきと考えています。

漏水対策は、全国の水道事業を経営する公営企業が抱える難題であると認識していますが、現在のところ特効薬的な対策はありません。町では、老朽管の更新工事を推進することの他、計画的な漏水調査を継続し、漏水発見時には、速やかに修繕を実施するなどして地道に行っていくことが第一の策であると考えています。

Q 住民通報に対し、個人や自治会への懸賞金制度の設定は漏水発見に有効と思いますがどうですか。

A 【澤野 建設課長】
町民の方等からの通報については、大変感謝しております。路面に現れ、目視できる漏水は、通報により一定の成果を上げている状況ですので、懸賞金制度は現在のところ考えていません。

議会活動 10月～12月

10月

- 6日 県町村議会議長会定期総会 / 正副議長会
- 20日 例月出納検査
富加小児童（2年生）議場見学（～21日）
- 27日 町国保・介護保険運営協議会
- 28日 議会運営委員会

11月

- 1日 定期監査（2日、4日）
- 2日 地方自治連絡協議会
- 9日 金子俊平衆議院議員との面談
- 17日 可茂町村議会議長会
- 18日 町空家等対策協議会
- 24日 例月出納検査
- 26日 議会運営委員会 / 中学校組合議会

12月

- 1日 町かわまちづくり協議会
- 2日 県町村議会議長会
- 7日 第7回定例会（～15日） / 議員全員協議会
- 9日 総務産業建設常任委員会
- 10日 文教厚生常任委員会
- 14日 議員全員協議会
- 16日 町社会教育委員会 / 公民館運営審議会
町交通安全対策協議会
- 18日 中部国際医療センター竣工記念式典
- 21日 例月出納検査
- 22日 可茂広域行政一部事務組合定例会
- 26日 年末夜警激励会

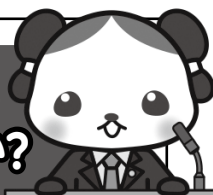


12月定例会の最終日を4人の方が傍聴されました。傍聴アンケートでは、貴重なご意見ご感想をいただきました。ありがとうございました。

＼町民のみなさん／

町議会を傍聴してみませんか？

富加町マスコット
キャラクター
とみぼん



本会議当日は、役場1階ロビーでも
ライブ中継を視聴できます。

次回定例会は3月に開催

詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

編集 後記



新年あけましておめでとうございます。

昨年の10月に国内の緊急事態、重点措置が全面解除になり、ようやくコロナから2年振りに解放されるとの思いと、オミクロンという変異株の第6波が押し迫ってくる予感の中での新年となりました。早期の3回目のワクチン接種、経口薬の商品化が望まれています。今も我々が守らなければならない事は、マスクの着用・手洗いの励行・3密の回避・不要不急の外出の自粛という感染防止の基本を忠実に実行する事だと思います。今一度、気を引き締めましょう。

昨年10月には岸田内閣が発足し、衆議院議員選挙が行われました。選挙戦を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症対策が与野党の政権の材料になっていることに違和感を感じました。国・世界が危機に陥っている時には、政府、与党、野党が力を合わせて対策をすることが国民に対する義務ではないでしょうか。

富加町議会は、行政と力を合わせ皆様の安心・安全に一丸となって頑張る所存でございます。どうか皆様には、ご指導を賜りますことをお願い申し上げます。本年も宜しく申し上げます。

(文責 梅村 登次)

議会広報委員会

委員 / 梅村登次・木村康夫

いま もっと、まちのこと

これが知りたい!!

町内の水道管 漏水対策の 現状は？



重要なライフラインとして欠かすことのできない水道。近年、異常気象や老朽管の破損による大規模な断水が各地で見られ、町内においてもこうした状況をはじめ、さらには震災への対策が急務となっています。様々な対応の中での水道管の漏水対策に着目して、町の担当者に聞きました。

Q1 なぜ水道管の漏水が起こるのですか。

町の水道管は、古くは昭和40年代に布設したものを現在でも使用している状況で、水道管の老朽化が漏水の主な要因となっています。幹線管路である口径の大きな水道管は、計画的に耐震管への更新工事を行っていますが、多額の費用と期間を要するため町内全てを更新していくことは難しく、多くは漏水した箇所を都度修繕している状況です。

Q2 漏水が及ぼす影響や町の対策は。

町は県水を購入し配水しており、漏水は水を無駄にし余分な経費となることは勿論ですが、地中の漏水は地表に水が現れないこともあり、ご自宅や道路下を問わず、土地の陥没や管の破損の進行、断水につながることもあります。町では、令和3年11月末で有収率^(※)95.76%と過去5年の中では最も漏水の少ない状況まで改善してきています。今後も継続した漏水調査等を行い、経費の削減につなげていきたいと考えています。

※有収率…給水量(県水購入量)と、家庭・事業所などから料金として収入のあった水量との比率(%)

Q3 漏水を発見した場合はどうすればいいですか。

過去5年間の町内での漏水87件のうち、町民の方からの通報が57件、委託業者による漏水調査が24件、職員等による発見が6件でした。早く対処するためには、町民の方からの通報がとても有効ですので、町内の道路などで漏水を発見された場合は、担当まで連絡をお願いします。



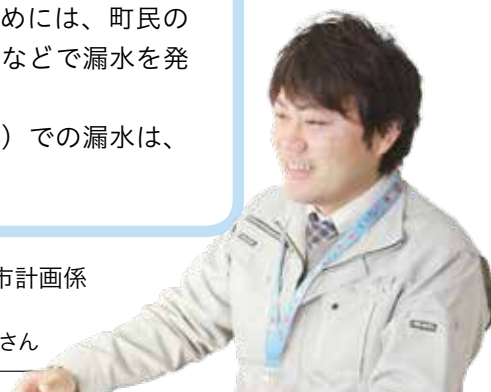
なお、宅内側(水道検針メーターよりご自宅側)での漏水は、ご自身により業者への修理依頼をお願いします。

水道に関する
お問い合わせは

TEL0574-54-2115(直通)

町建設課 都市計画係

ほそえ ゆうき
細江 裕紀さん



富加町議会だより

とみかのぎかい | 2022.1.25
No.184

編集/議会広報委員会 発行/岐阜県富加町議会

富加町議会 議会事務局

〒501-3392 岐阜県加茂郡富加町滝田1511
TEL 0574-54-2161 FAX 0574-54-2461

URL <https://www.town.tomika.gifu.jp/chosei/gikai/>

